

## 港区を歩く⑳ 三田北部

今回は、赤羽橋を起点に三田の北部（三田一丁目、二丁目）を歩きました。

この地区の最大の特徴は、オーストラリア大使館、三井倶楽部などがある台地の上と、古川ぞいの台地の下とのコントラストでしょう。

まずは、古川沿いに西へ。  
歴史的由緒が感じられるものが点在していました。



**A** 赤羽橋南詰にある旧赤羽橋の親柱。立派です。



**B** 麻布十番近くの古川の様子。



**C** Bの近くにある材木店。かつての古川の海運と関係があったのでしょうか。



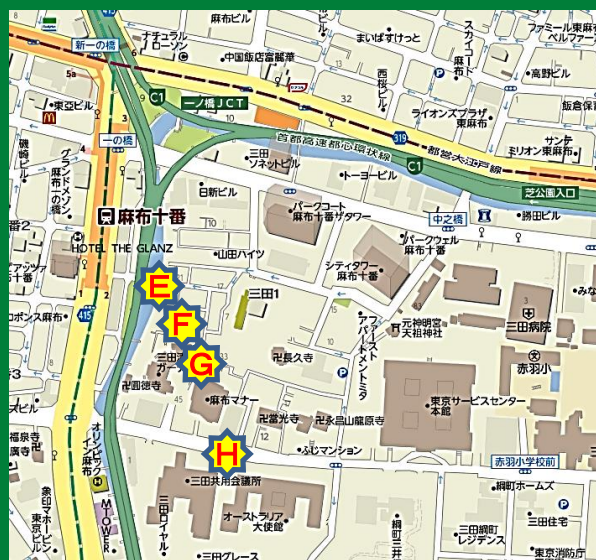
**D** 1005年創建の元神明宮。渡辺綱の産土神だそうです。



## 港区を歩く②③ 三田北部

古川ぞいの低地の典型は、一の橋付近の低層住宅地でしょう。（三田一丁目）

台地の下にひっそりと残っているこの一面は、路地が多く、いかにも古からの住宅地といった雰囲気です。  
ご多分にもれず、周辺ではマンション開発が進んでいました。



**E** 一の橋付近の住宅地。正面の高層マンションは、「シニタタワー麻布十番」。



**F** Eの近くの景観。



**G** 路地の奥は行き止まりではなく、台地の下と上を結ぶ階段がありました。



**H** 台地の上に出ると景観は一変する。



## 港区を歩く②③ 三田北部

台地の上は、オーストラリア大使館、イタリア大使館、三田共用会議所（中央官庁）、かんぽ生命保険サービスセンター、三井倶楽部といった大規模公的施設等が立ち並び、極めて整然とした景観を形成しています。

ここもマンション開発が進んでいますが、公的施設が多いので急激に景観が変化することは少ないでしょう。

撮影日：2015年5月19日



I かんぽ生命保険サービスセンター。元郵政省地方簡易保険局。



J オーストラリア大使館。



K 台地の上と下を結ぶ綱坂。左が三井倶楽部。



L 国の重要文化財に指定されている慶応義塾大学図書館(旧館)。